

# フレンチア青葉台

Frencia Aobadai

No. 22-020-2024作成  
新築  
集合住宅

発注者	相互住宅株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	前田建設工業株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携				
施工	前田建設工業株式会社	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他				

## 内外で「木」を感じられるハイブリッド木造・木質化 集合住宅

### 木材利用で森林資源の循環および地域経済の活性化

最上階の一部柱を木柱としたハイブリッド構造の賃貸集合住宅である。天然木で囲まれた出窓形状のマルチスペース「WOOD-BOX®」や、木柱に採用した「COOL WOOD」などを専有部に設け、軒天など外装にも日射や雨あたりに配慮のうえ、木材を使用することで、建物内外で木材の良さを長期間感じられる空間を目指した。木材利用の目的の一つとして、国産材や地元神奈川県産材の活用を通じた森林資源の循環利用および地域経済の活性化への貢献がある。最上階の構造躯体の一部に木柱を採用したほか、内外装に用いた国産材CLTや神奈川県産の杉板など、建物全体で約27.2㎡の木材を使用しており、CO2換算で約15.3tの炭素を固定化した。

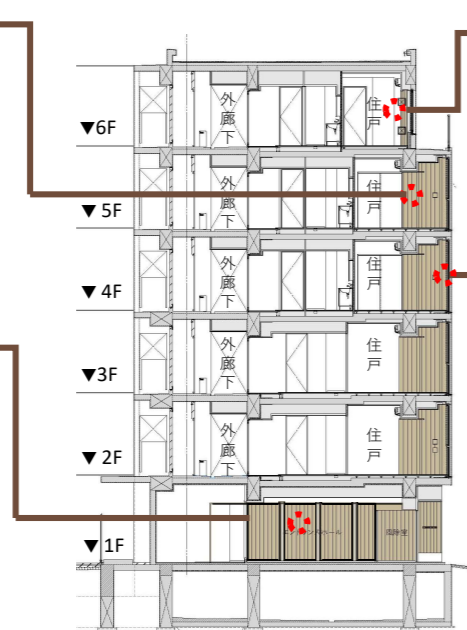
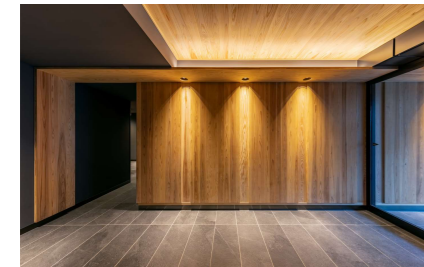


北東からの外観

### 「WOOD-BOX®」



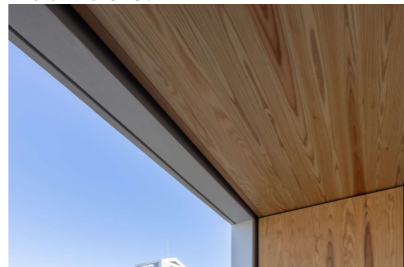
### エントランス・共用部



### 1時間耐火木柱「COOL WOOD」

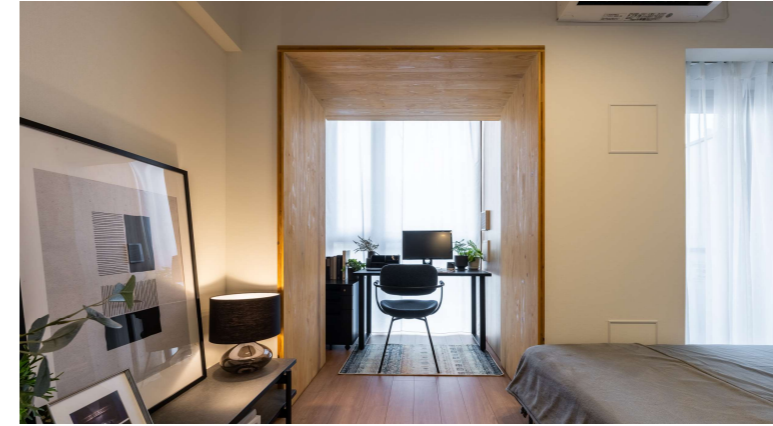


### 外装木質化

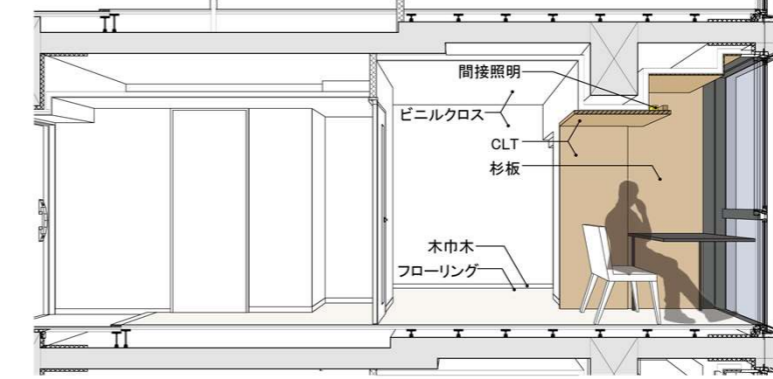


### 木に囲まれたマルチスペース

単調になりがちな1Kタイプの居住空間を「WOOD-BOX®」とフルハイトサッシによって開放的な空間および、居住者のライフスタイルにバリエーションを与えることを意図した。厚みのあるCLTを採用し、木の香りやぬくもりを十分に感じられる空間とすることで、居住者のQOLの向上に寄与している。



木に囲まれた「WOOD-BOX®」



住戸断面パース

### 1時間耐火木柱「COOL WOOD」



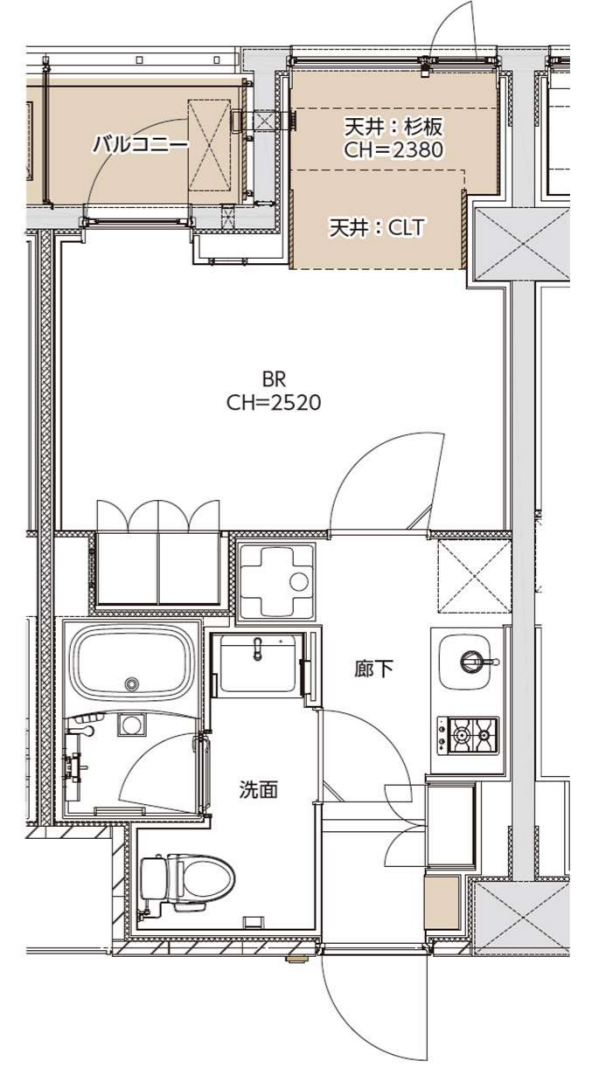
最上階の一部柱に木柱を採用し、RCと木のハイブリッド構造としている。当該木柱は、1時間耐火認定を取得しているシェルター社「COOL WOOD」を採用することで、柱の木材仕上げを専有部内から触れることができる空間を実現した。

### 設計担当者

建築：永松航介、西森匠、近藤佑哉 / 構造：鈴得和幸、柳沼啓斗  
設備：池上勝豊、佐伯佳弥、新村都也、小田島賢成

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

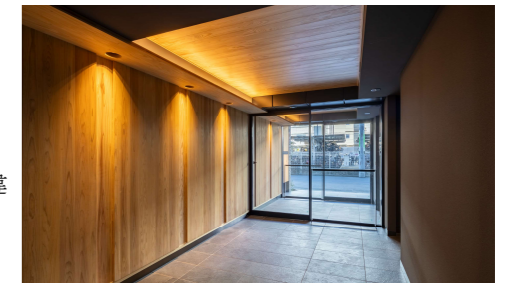
- LR2.2. 非再生性資源の使用量削減 (木造・木質化)
- LR3.1. 地球温暖化への配慮 (木造・木質化による炭素固定)



住戸平面図

### 木の表情を際立たせるエントランス空間

エントランスホールでは、一方の壁面と天井を木質化することで、木仕上をメインに据えた共用部デザインを目指した。特に壁面は、CLT材を段違いに使い溝をつけ、照明により積層断面の小口を照らすことで、木のボリュームを目と肌で感じられるようなデザインとしている。EVホールには神奈川県産の杉板を使った木製ベンチを設け、待合せにも使える安らぎ空間を設けた。



エントランスホール



館銘板

ELVホール

### 建物データ

所在地	神奈川県横浜市
竣工年	2024年
敷地面積	315㎡
延床面積	1,074㎡
構造	鉄筋コンクリート造、一部木造
階数	地上6階

### CASBEE評価

B+ランク  
BEE=1.2  
2016年度版  
自己評価

